



平成23年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社野田スクリーン

コード番号 6790 URL <http://www.nodascreen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小縣 英明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 小川 清志

四半期報告書提出予定日 平成22年9月13日

TEL 0568-79-0222

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第1四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成22年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第1四半期	1,022	7.0	225	53.1	226	43.6	136	52.2
22年4月期第1四半期	955	6.8	147	41.2	157	31.5	89	16.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第1四半期	1,276.67	—
22年4月期第1四半期	835.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第1四半期	7,475	6,822	91.3	63,983.41
22年4月期	7,606	6,748	88.7	63,296.98

(参考) 自己資本 23年4月期第1四半期 6,822百万円 22年4月期 6,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	300.00	—	500.00	800.00
23年4月期	—				
23年4月期(予想)		400.00	—	400.00	800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,880	△1.5	300	△6.9	307	△9.9	186	△5.2	1,744.46
通期	3,868	3.7	470	△25.3	494	△26.2	287	△28.2	2,691.73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年4月期1Q 110,393株 22年4月期 110,393株
② 期末自己株式数 23年4月期1Q 3,770株 22年4月期 3,770株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年4月期1Q 106,623株 22年4月期1Q 107,034株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年6月4日発表の平成23年4月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正しております。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした輸出拡大の継続による企業収益の改善にともない、設備投資抑制も緩和されるなど、景気は全体として回復基調となりました。しかしながら、欧州信用不安の長期化による株式市場の低迷や為替の変動など、依然として景気の先行きに対する不透明感は継続している状況となりました。

プリント配線板業界におきましては、携帯電話やパソコン・デジタル家電製品の生産数量増加に伴い、好調に推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、効率的な生産体制の構築を推進するとともに中期経営目標の実現に向けた成長戦略への取組みに注力いたしました。

この結果、当第1四半期の売上高は1,022,059千円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

営業利益は225,129千円（前年同四半期比53.1%増）、経常利益は226,737千円（前年同四半期比43.6%増）、四半期純利益は136,122千円（前年同四半期比52.2%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

プリント配線板加工事業

プリント配線板加工事業におきましては、携帯電話やパソコン・デジタル家電製品の生産数量増加および産業機器市場の復調にともない、フラットプラグ加工や有底ビア充填加工が堅調に推移いたしました。

以上により、プリント配線板加工事業の売上高は672,473千円、セグメント利益は250,167千円となりました。

化学材料事業

化学材料事業におきましては、パソコンや家電製品などの需要増にともない、小型モーター向けオイルバリア材料が堅調に推移いたしました。また、携帯電話筐体の防水用途におけるコーティング剤の需要が増加いたしました。

以上により、化学材料事業の売上高は155,566千円、セグメント利益は33,472千円となりました。

設備機器関連事業

設備機器関連事業におきましては、プリント配線板の生産数量増加にともない、加工用材料販売や製版販売が堅調に推移いたしました。

以上により、設備機器関連事業の売上高は194,020千円、セグメント利益は44,706千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

当第1四半期末の総資産は7,475,943千円（前連結会計年度末比130,252千円減）となりました。この内、流動資産は4,616,892千円（前連結会計年度末比71,133千円減）となりました。これは主に現金及び預金が157,176千円、繰延税金資産が35,362千円減少したことによるもの、受取手形及び売掛金が115,593千円増加したことによるものです。

固定資産は2,859,050千円（前連結会計年度末比59,119千円減）となりました。これは主に有形固定資産が44,843千円減少したことによるものです。

負債は653,840千円（前連結会計年度末比203,440千円減）となりました。この内流動負債は532,835千円（前連結会計年度末比199,714千円減）となりました。これは主に未払法人税が234,801千円減少したことによるものです。

固定負債は121,004千円（前連結会計年度末比3,725千円減）となりました。

純資産は6,822,102千円（前連結会計年度末比73,188千円増）となりました。

これらの結果、自己資本比率は、91.3%（前連結会計年度末比2.5ポイント上昇）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,882,211千円（前連結会計年度末比153,459千円減）となりました。

営業活動によって減少した資金は105,056千円（前年同四半期は35,865千円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益227,370千円、減価償却費65,286千円による増加、および売上債権の増加額117,758千円、法人税等の支払額278,658千円による減少であります。

投資活動に使用された資金は4,440千円（前年同四半期比50,425千円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出14,029千円によるものであります。

財務活動に使用された資金は39,357千円（前年同四半期比3,631千円増）となりました。これは配当金の支払額39,357千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の連結業績予想につきまして、平成22年6月4日に公表しました業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、平成22年9月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,983,442	3,140,618
受取手形及び売掛金	1,336,655	1,221,061
有価証券	142,119	142,087
商品及び製品	4,893	2,199
仕掛品	7,934	6,687
原材料及び貯蔵品	57,475	48,549
繰延税金資産	23,160	58,522
その他	64,182	70,746
貸倒引当金	△2,970	△2,446
流動資産合計	4,616,892	4,688,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,643,666	2,644,999
減価償却累計額	△1,395,284	△1,372,318
建物及び構築物(純額)	1,248,382	1,272,681
機械装置及び運搬具	1,949,592	1,951,098
減価償却累計額	△1,617,992	△1,594,058
機械装置及び運搬具(純額)	331,600	357,040
工具、器具及び備品	206,862	206,710
減価償却累計額	△169,457	△165,916
工具、器具及び備品(純額)	37,404	40,793
土地	594,078	594,078
建設仮勘定	71,285	63,000
有形固定資産合計	2,282,750	2,327,593
無形固定資産		
その他	80,756	86,751
無形固定資産合計	80,756	86,751
投資その他の資産		
投資有価証券	359,762	375,882
長期貸付金	24,776	26,983
繰延税金資産	30,713	28,586
その他	96,470	89,212
貸倒引当金	△16,179	△16,841
投資その他の資産合計	495,543	503,823
固定資産合計	2,859,050	2,918,169
資産合計	7,475,943	7,606,195

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	179,848	134,493
未払法人税等	54,214	289,016
賞与引当金	38,322	74,306
その他	260,449	234,734
流動負債合計	532,835	732,550
固定負債		
長期未払金	94,211	94,211
退職給付引当金	21,793	25,519
その他	5,000	5,000
固定負債合計	121,004	124,730
負債合計	653,840	857,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,350	1,196,350
資本剰余金	2,051,849	2,051,849
利益剰余金	3,738,724	3,651,622
自己株式	△192,179	△192,179
株主資本合計	6,794,745	6,707,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,184	19,164
繰延ヘッジ損益	26	△51
為替換算調整勘定	18,146	22,157
評価・換算差額等合計	27,357	41,271
純資産合計	6,822,102	6,748,914
負債純資産合計	7,475,943	7,606,195

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	955,271	1,022,059
売上原価	551,567	514,276
売上総利益	403,703	507,783
販売費及び一般管理費	256,677	282,654
営業利益	147,026	225,129
営業外収益		
受取利息	583	3,636
有価証券利息	5,502	—
受取配当金	396	429
受取賃貸料	10,478	10,478
その他	2,857	1,447
営業外収益合計	19,818	15,992
営業外費用		
為替差損	6,126	12,328
貸与資産減価償却費	2,852	2,053
その他	—	1
営業外費用合計	8,979	14,384
経常利益	157,865	226,737
特別利益		
前期損益修正益	—	332
固定資産売却益	—	300
特別利益合計	—	632
特別損失		
固定資産売却損	6,179	—
会員権売却損	7,514	—
特別損失合計	13,694	—
税金等調整前四半期純利益	144,170	227,370
法人税、住民税及び事業税	54,075	51,244
法人税等調整額	674	40,003
法人税等合計	54,749	91,247
少数株主損益調整前四半期純利益	—	136,122
四半期純利益	89,421	136,122

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144,170	227,370
減価償却費	71,399	65,286
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,725
有形固定資産売却損益 (△は益)	6,179	△300
受取利息及び受取配当金	△6,482	△4,066
売上債権の増減額 (△は増加)	△460,648	△117,758
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,549	△13,079
仕入債務の増減額 (△は減少)	146,772	45,944
前渡金の増減額 (△は増加)	9,512	114
その他	112,519	△30,249
小計	35,973	169,535
利息及び配当金の受取額	4,938	4,066
法人税等の支払額	△5,047	△278,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,865	△105,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,223	△14,029
有形固定資産の売却による収入	2,390	—
無形固定資産の取得による支出	—	△525
投資有価証券の取得による支出	△670	△681
貸付金の回収による収入	—	884
その他	5,636	9,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,865	△4,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△13,588	—
配当金の支払額	△22,136	△39,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,725	△39,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,071	△4,604
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△57,797	△153,459
現金及び現金同等物の期首残高	2,296,135	3,035,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,238,337	2,882,211

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年7月31日)

	プリント配線 板加工事業 (千円)	設備機器 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	563,539	391,731	955,271	—	955,271
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	385	385	(385)	—
計	563,539	392,116	955,656	(385)	955,271
営業利益	176,960	75,881	252,841	(105,815)	147,026

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

(1) プリント配線板加工事業……………フラットプラグ加工

(2) 設備機器関連事業……………設備機器、フッ素ケミカル製品、スクリーン印刷版

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年7月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年7月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスによって事業を「プリント配線板加工事業」、「化学材料事業」、「設備機器関連事業」の3事業に区分しており、報告セグメントとしております。各事業は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「プリント配線板加工事業」は、電子機器に内蔵されるプリント配線板のスルーホールなどにスクリーン印刷を用いて樹脂充填し、平滑研磨により、フラットプラグ加工や有底ビア充填加工、アンダーコート加工などを行う事業であります。

「化学材料事業」は、電子部品等に用いられる化学材料を開発から製造、販売まで一貫して行う事業であります。

「設備機器関連事業」は、プリント配線板加工用材料の製造販売や、電子部品製造装置の販売を行う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日）

(単位：千円)

	プリント配線板 加工事業	化学材料 事業	設備機器 関連事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	672,473	155,566	194,020	1,022,059
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	672,473	155,566	194,020	1,022,059
セグメント利益	250,167	33,472	44,706	328,347

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	328,347
セグメント間取引消去	315
全社費用（注）	△103,533
四半期連結損益計算書の営業利益	225,129

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。